

科目名 「 病 理 学 ・ 口 腔 病 理 学 」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	久山佳代

学習目標 (G10)	病理学は疾病の原因、経過および結果を追究し、それらを体系化して理解することにより、疾病の本態を究明する学問であり、基礎医学と臨床医学の架け橋として重要な役割を担っている。 歯科臨床の一翼を担う歯科衛生士として必要不可欠な疾病の理論や口腔病変の概要を理解するとともに、考える基礎を学ぶことにより、自己の問題発見および解決能力を身につける。
担当教員	久山佳代, 宇都宮忠彦, 末光正昌, 森川美雪, 山本浩嗣, 木場秀夫
教科書	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 医歯薬出版
参考図書	スタンダード口腔病態病理学 第2版; 賀来亨, 槻木恵一 編著; 学建書院
評価方法 (E V)	1) 平常試験 1 (50%)、平常試験 2 (50%) の割合を目安とし、小テスト, レポート, 授業態度なども併せて総合評価とし, 60 点以上を合格点とする。 2) 不合格者の評価は0-59 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	疾病の理論や口腔病変の概要を理解することは臨床歯科診療のみならず, 一般社会生活でも応用できるので, 興味を持って講義に参加して下さい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第 1 回 10/6	序論, 病因論	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 病理学とはどういう学問か、あるいは臨床医学との関わりについて説明する。 2. 病因には内因と外因があり、疾病の発症はf (内因×外因) の関係で表現されるが、病因と病態の相互関係を具体的に述べる。</p> <p>【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。6 大病変を列挙できる。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山本浩嗣
第 2 回 10/13	奇形 代謝障害 (退行性病変)	<p>【授業の一般目標】 先天異常・奇形、代謝障害を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 奇形は先天的に生じる肉眼的な形態異常であること、およびその成因や種類を説明する。 2. 物質の代謝障害により生じる形態学的変化は変性、萎縮、壊死に大別されるが、その概要を述べる。</p> <p>【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 ・退行性病変における萎縮、変性及び壊死の定義について述べる事ができる。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	久山佳代 森川美雪
第 3 回 10/20	増殖と修復 (進行性病変)	<p>【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 病因に対する生体の積極的な反応が進行性病変であり、肥大と増生、再生、創傷治癒、化生における病理学的特徴を説明する。</p> <p>【準備学習項目】 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	久山佳代 森川美雪

第4回 10/27	循環障害	<p>【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 生体は血液およびリンパ液を介して物質代謝を行っており、それら循環の障害となる原因、成因、病態について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 ・血液及びリンパ液の循環（経路）について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。（30分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	久山佳代 森川美雪
第5回 11/10	炎症	<p>【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 炎症は循環障害、退行性病変および進行性病変を併せ持つ生体防御反応の総称であること、およびその分類、病態、あるいは経過について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症性細胞の役割について説明できる。（30分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	久山佳代 森川美雪
第6回 11/17	腫瘍	<p>【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 腫瘍は生体を構成する細胞の自律的な増殖であり、その成因、分類、病態の概要を述べる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。（30分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	久山佳代 森川美雪
第7回 11/24	平常試験1 解説講義	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために奇形・代謝異常，退行性病変，進行性病変，炎症及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 全身の疾患を整理・理解し，理論的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 第1回～第6回の講義内容をまとめる。（120分）</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	久山佳代 森川美雪
第8回 12/1	口腔領域の奇形 歯の発育異常 歯の損傷と着色	<p>【授業の一般目標】 口腔領域の奇形，歯の発育異常，歯の損傷を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口唇裂などの口腔の奇形，歯の発育異常，および咬耗・磨耗について、生体の発生と関連して、その成因，種類および病態を説明する。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔が関係する全身性疾患について列挙できる。（30分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	宇都宮忠彦
第9回 12/8	う蝕	<p>【授業の一般目標】 齲蝕を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 う蝕は口腔内常在菌による有機質の崩壊と無機質の脱灰により生じる歯の実質欠損であり、その成因，分類，病理組織学的な特徴を列挙する。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯の正常組織構造について解説できる。 ・齲蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。（30分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	木場秀夫

<p>第10回 12/15</p>	<p>歯髄の病変 顎骨の病変</p>	<p>【授業の一般目標】 歯髄の病変，顎骨の病変を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯髄炎を中心にその成因，分類，病態について解説すると共に，随伴する種々の歯髄組織の反応について述べる。 2. 顎骨骨髓炎などの成因，分類および病態について説明する。 【準備学習項目】 ・歯髄炎の分類と病理学的特徴について解説できる。 ・顎骨の正常組織構造について解説できる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>木場秀夫</p>
<p>第11回 12/22</p>	<p>歯周組織の病変 口腔の加齢変化</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周組織の病変，口腔の加齢変化を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯肉炎や歯周炎などの歯周疾患の成因，分類および病態について説明する。 2. 加齢に伴う口腔組織における形態学的変化の概略を述べる。 【準備学習項目】 ・歯肉，歯周組織の正常構造について解説できる。 ・退行性病変について説明できる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>末光正昌</p>
<p>第12回 1/12</p>	<p>口腔の創傷治癒 口腔粘膜の病変</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔の創傷治癒，口腔粘膜の病変を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔の創傷治癒，特に抜歯創の治癒について病理組織学的に説明する。 2. 口腔粘膜の角化性病変，感染症，腫瘍類似疾患および前癌病変があり，その病因と病態を述べる。 【準備学習項目】 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 ・口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>末光正昌</p>
<p>第13回 1/19</p>	<p>口腔領域の嚢胞</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔の嚢胞を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 生体内に生じる病的な空洞を嚢胞といい，口腔領域においては歯原性，非歯原性および軟組織に発生する嚢胞に大別されるが，その成因や病態，病理組織学的特徴を列挙する。 【準備学習項目】 ・嚢胞の定義を述べることができる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>宇都宮忠彦</p>
<p>第14回 1/26</p>	<p>口腔領域の腫瘍</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔の腫瘍を理解するために、その成り立ち、分類及び病態を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 口腔腫瘍には歯の原基から発生する歯原性腫瘍とそれ以外の非歯原性腫瘍があり，その成因や病態，病理組織学的特徴を説明する。 【準備学習項目】 ・腫瘍の定義を述べることができる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>宇都宮忠彦</p>
<p>第15回 2/2</p>	<p>平常試験2 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために奇形・代謝異常，退行性病変，進行性病変，炎症及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。 【行動目標 (SB0s)】 全身の疾患を整理・理解し，理論的に説明できる。 【準備学習項目】 第1回～第6回の講義内容をまとめる。(120分) 【学習方略 (LS)】</p>	<p>久山佳代 森川美雪</p>